

# RZ

## LEXUS、「RZ」の新型モデルを世界初公開

—次世代の操舵感覚をもたらすステアバイワイヤの採用で新しいドライビング体験を提供—

- 走りのコンセプト“The Natural”を徹底的に追求し「Lexus Driving Signature」をさらに深化
- バッテリーEVシステムを全面刷新し航続距離を20%<sup>\*1</sup>伸長、充電時間の短縮
- 高出力モーターを搭載した「RZ550e “F SPORT”」をラインアップに追加
- 「人とクルマの対話」を加速させ新たなドライビング体験をもたらすステアバイワイヤシステムを設定
- マニュアル操作のように駆動力を操作できる機能「インタラクティブマニュアルドライブ(Interactive Manual Drive)」を設定し、操る楽しさを提供



LEXUS RZ550e “F SPORT”(ニュートリノグレー&ブラック)

LEXUS は、「RZ」の新型モデルをベルギー、ブリュッセルにて発表しました。2025 年秋以降、順次各地域で発売を予定しております。

2005 年の RX400h 発売以降、LEXUS はラグジュアリー市場における電動化の先駆者として、常に優れた走行性能と環境性能の両立を追求し、2024 年には電動車<sup>\*2</sup>比率が過去最高となる 52%を記録しました。これからも多様なお客様や市場のニーズに寄り添いながら、BEV、HEV、PHEV などの電動車の普及を通じ、カーボンニュートラル社会の実現を目指してまいります。また、電動化技術を用いた基本性能の大幅な進化を実現し、未来のモビリティの在り方を変えるエンジニアリングへの挑戦や、ライフスタイルを豊かにするサービスの追求を通じて、LEXUS ならではの体験価値のご提供を目指してまいります。

今回の RZ では、BEV システムを全面刷新し、モーターの高出力化や航続距離の伸長、充電時間の短縮を実現。また、次世代の操舵感覚をもたらす「ステアバイワイヤシステム」<sup>\*3</sup>を導入し、全く新しいドライビング体験を提供いたします。加えて、プラットフォームの改良による走りの基本性能の磨き上げと電動化技術を活用した四輪駆動力システム「DIRECT4」の特性を見直すことで、走りのコンセプト“The Natural”を磨き上げより自然で気持ちの良い走りの味「Lexus Driving Signature」を深化させました。さらに前後モーターの高出力化を施した「RZ550e “F SPORT”」を追加設定。最大システム出力 300kW を発生させ、より力強く爽快な走りを追求しました。さらに LEXUS 初採用の「インタラクティブマニュアルドライブ(Interactive Manual Drive)」を搭載し、加減速におけるシフト操作時の高揚感を高めるサウンドの演出と相まって、スポーティでダイレクト感ある走りとお操る喜びを体感いただけます。

また、エクステリアには F SPORT 用カラーの設定と空力に寄与する前後スポイラーとホイールを設定し、インテリアには F SPORT 用シートやアルミペダル類を配することでスポーティな世界観を創出しました。今回の RZ は、日常の利便性や実用性を重視するお客様から、運転する楽しさを追求したいお客様まで、幅広いニーズにお応えするラインアップを提案いたします。

なお、お客様の RZ とともに過ごす時間をより豊かにするためのプログラム「LEXUS Electrified Program」も更なる拡充をしております。レクサス充電ステーションは、東京・軽井沢・大阪・名古屋・福岡(4月予定)で開設しています。また、LEXUSらしい BEV ライフの一つとなるレクサス エクスペリエンスをはじめ、レクサス販売店へ急速充電器の追加設置も開始しております。

\*1:FWD モデル、18 インチタイヤ装着車(欧州プロトタイプ値)

\*2:電動車は HEV、PHEV、BEV の全モデルを含む

\*3:F SPORT

## < 「RZ」 新型モデルの主な特長 >

### ① BEV システムを全面刷新し、基本性能を徹底的に追求

- ・高出力化による動力性能の向上とお客様のニーズに寄り添った選択肢の拡大
- ・お客様の実用性を追求した航続距離の伸長
- ・充電システムの見直しによる充電時間の短縮

### ② LEXUS ならではの走りの味の深化と新しいドライビング体験の提供

- ・ BEV 専用プラットフォームの改良と素性の進化による高い運動性能の実現
- ・ LEXUS 初となるステアバイワイヤシステムの導入
- ・ドライバーの意図に忠実な走りを支える新四輪駆動力システム「DIRECT4」の進化
- ・走りの楽しさをもたらす「インタラクティブマニュアルドライブ(Interactive Manual Drive)」を新規設定
- ・音や振動の発生源を抑制する源流対策にこだわった LEXUS BEV ならではの静粛性

### ③ 運転する楽しさをもたらす F SPORT 独自のデザインを設定

- ・空力性能に根差した F SPORT 独自のエクステリアデザイン
- ・お客様のニーズに寄り添うクリーンで開放的な空間を追求
- ・ステアバイワイヤ用ステアリングホイールの設定など走りを想起させる F SPORT 独自のインテリア

## Lexus International Lexus Electrified 開発責任者 井藤 進矢

LEXUS は、電動化技術を磨いてクルマの本質的な走る楽しさや新しい運転体験の提供を目指しています。「トヨタテクニカルセンター下山(TTC-S)」では、厳しい道路環境を模したテストコースでエンジニアやプロドライバーが一体となり、クルマの素性を徹底的に鍛え上げています。加えて今回の RZ では、電動化技術を操作系まで扱ったステアバイワイヤシステムを搭載し、ワインディングでの直感的な操作フィールや低速域での取り回し性を追求しました。また、ソフトウェア技術を用いた「インタラクティブマニュアルドライブ(Interactive Manual Drive)」により、操る楽しさやクルマとの対話ができる体験価値を実現しております。今後も、LEXUS は素性の良いクルマとしてのハードウェアとソフトウェアの融合により、LEXUS ならではのドライビング体験に挑戦してまいります。

【RZ 主要諸元】(従来モデル比較)※欧州プロトタイプ値

		RZ550e "F SPORT"	RZ500e	RZ350e
全長		4,805 mm(±0)		
全幅		1,895mm(±0)		
全高		1,635mm(±0)		
ホイールベース		2,850mm(±0)		
車両重量*6		2,135-2,180kg*2	2,100-2,155kg*3	1,995-2,050kg*3
タイヤサイズ		20インチ	18/20インチ	18/20インチ
航続距離		450km*1*2	500km*1*3	575km*1*3
電費		184Wh/km*1*2	166Wh/km*1*3	144Wh/km*1*3
総電力*5		76.96kWh		
急速充電規格		CCS2*4		
フロントモーター	最高出力	167kW [227PS] *1		
	最大トルク	268.6N・m [27.3kgf・m] *1		
リヤモーター	最高出力	167kW [227PS]*1	-	
	最大トルク	268.6N・m [27.3kgf・m] *1	-	
システム最高出力		300kW [407.8PS] *1	280kW [380.6PS] *1	165kW [224.3PS] *1
0-100km/h加速		4.4*1	4.6*1	7.5*1

\*1 欧州向け、開発中の暫定値

\*2 欧州向け WLTP モード・20 インチタイヤ装着車

\*3 欧州向け WLTP モード・18 インチタイヤ装着車

\*4 欧州向け

\*5 測定方法は IEC62660-1 に準じています

\*6 地域/仕様によって異なります

## BEV システムを全面的に刷新し、基本性能を徹底的に追求

お客様の多様化するニーズにお応えすべく、バッテリーEV システムを全面刷新し、BEV の基本性能を徹底的に追求しました。バッテリーセルの改良と搭載セル数の増加で出力特性を向上した新開発の大容量リチウムイオンバッテリーを採用し、新たに高出力モーターを搭載、インバーターの効率が向上した新型 eAxle を前後ともに搭載することで駆動モーターの高出力化とユニットの大幅な損失低減を実現しました。加えて、バッテリーの大容量化とバッテリーパック構造の最適化などを施し、航続距離の伸長と充電時間の短縮を実現することでお客様の実用性を高めました。

### <高出力化による動力性能の向上とお客様のニーズに寄り添った選択肢の拡大>

- ・バッテリーセルの改良と搭載セル数の増加で出力特性を向上した大容量リチウムイオンバッテリーにより、高出力モーターを搭載し、インバーターの効率が向上した新型 eAxle の駆動モーター高出力化(フロント/リヤ 167kW)に対応しました。モーターの高出力化により、全開加速性能と最高速性能を高めるとともに、中間加速においても、より伸び感のある爽快な走りを実現しました。BEV システムおよび大容量リチウムイオンバッテリーの冷却には、水冷式を採用し高い動力性能に寄与します。これら高出力化したユニットと駆動方式を掛け合わせることで、165kW(FWD モデル)、230kW、250kW、280kW、300kW(いずれも AWD モデル) \*1 とお客様のニーズに合わせてお選びいただけるラインアップをご提供することが可能になりました。



新 BEV システム

\*1: 導入国は地域によって異なります

### <航続距離の伸長と充電システムの見直しによる充電時間の短縮>

- ・新型 eAxle による電力の大幅な損失低減とバッテリーの大容量化に加え、制御の最適化を進めることでさらにお客様の安心感を高めた航続距離を確保しました。高い動力性能を確保しながら AWD モデルで約 14%(500km\*)、FWD モデルにおいては約 20%(575km\*) と大幅に航続距離を伸長。これにより、日常のご使用から長距離ドライブに至るまで、安心して爽快な走りをご堪能いただけます。
- ・バッテリーの大容量化とバッテリーパック構造の最適化、車載充電器の充電性能と各機能のレベルアップにより、充電性能を向上。最大 30 分以上の充電時間短縮を図りました。特に低温環境下においては、新たに設定した「電池プレコンディショニング機能」をご使用いただくことで、充電開始前からあらかじめ電池温度が最適な状態に調整され、充電時間の遅延を解消いただけます。



新型 eAxle



新搭載バッテリー

\*1: 欧州 WLTP(プロトタイプ値)

## LEXUS ならではの走りの味の深化と新しいドライビング体験の提供

LEXUS 初採用となる「ステアバイワイヤシステム」\*1 を搭載し、BEV ならではの新しいドライビング体験を提供いたします。プラットフォームの改良による走りの基本性能の磨き上げと LEXUS の電動車ならではの四輪駆動システム「DIRECT4」を最適化することで、走りのコンセプト“The Natural”を追求した、より自然で気持ちの良い LEXUS ならではの走りの味「Lexus Driving Signature」を深化させました。さらに「RZ550e “F SPORT”」を追加設定し、ラインアップを拡充。前後モーターの高出力制御により最大システム出力 300kW を発生させ、より力強く爽快な走りを追求しました。さらに、LEXUS 初となる「インタラクティブマニュアルドライブ(Interactive Manual Drive)」\*1 を採用し、加減速におけるシフト操作時の官能的なサウンドと相まって、スポーティでダイレクト感ある走りと操る喜びを体感いただけます。

### <LEXUS 初となる「ステアバイワイヤシステム」を設定\*1>

LEXUS が大切にしている「人とクルマとの対話」をより加速させ従来のコックピットに大きな変革をもたらす「ステアバイワイヤシステム」を搭載しました。ドライバーとクルマが一体となった走りを実現するために、進化したステアリング制御とともに「ステアバイワイヤシステム用ステアリングホイール」を採用しました。中立位置から左右約 200°の範囲でステアリング操作が可能となり、ステアリングホイールを大きく回転させる必要がなく快適で楽な運転を体感いただけます。また、車速に応じたステアリングギヤ比の制御により、低速運転時の車両の取り回し性だけでなく、ワインディングでの軽快な走行を可能にする俊敏性や自動車専用道路などの高速走行時の高い安定性も実現します。また、「ステアバイワイヤシステム」は、従来のタイヤとステアリングが機械的に結合するシステムとは異なり、電気信号によってタイヤの動きを制御するため路面からドライバーに伝わる振動を効果的に抑制。同時に、路面の状態をセンシングし運転に必要な情報のみをドライバーへ伝達します。LEXUS は、この新たな「ステアバイワイヤシステム」によって、BEV モデルならではの、人とクルマが一体となる直感的で快適な、全く新しいドライビング体験を提供します。

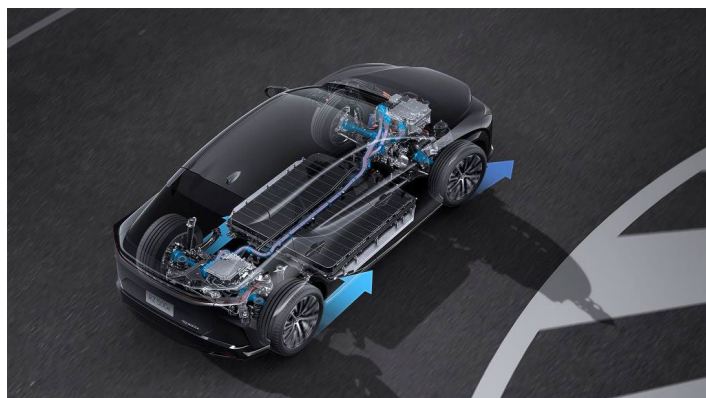


ステアバイワイヤ イメージ

\*1: F SPORT に搭載

## < DIRECT4 の進化 >

- ・新たに高出力モーターを搭載し、インバーターの効率が向上した新型 eAxle を前後に搭載したことと合わせ、LEXUS の電動化技術を活用した四輪駆動力システム「DIRECT4」の駆動力配分の制御を見直し、さらに優れたトラクション性能と操縦安定性を実現しました。発進時、直進加速時は、車両のピッチングを抑え、ダイレクトな加速感が得られるように、前輪:後輪=60:40~0:100 程度で制御します。コーナリング時には車速、舵角などの情報を用いて、走行状態に合わせて駆動力配分を 80:20~0:100 で最適に制御。ターンインでは、クルマがすっきりと曲がっていきやすいフロント寄りの駆動力へ配分。コーナー脱出時は車両挙動の乱れが無く加速できるよう、各輪の接地荷重に応じたトルク配分制御とすることで、気持ちの良い旋回フィーリングや狙い通りのラインレースを実現しています。また「統合車両姿勢安定制御システム (VDIM)」との連携と合わせ、フラットな乗心地と優れた操縦安定性に加え、緊急時の危険回避性能を高い次元で確保いたしました。



DIRECT4 イメージ

## < 「インタラクティブマニュアルドライブ(Interactive Manual Drive)」\*1 がもたらす、操る楽しさと深化するクルマとの対話 >

- ・パドルシフト(スイッチ)を使用してマニュアルトランスミッションを操作するような感覚で駆動力を操作する機能「インタラクティブマニュアルドライブ(Interactive Manual Drive)」を LEXUS 初採用しました。このシステムでは 8 速の仮想有段ギヤを持ち、アクセル開度と車速に応じて算出した仮想パワーソーストルクに、パドルシフト(スイッチ)で選択した仮想ギヤ段のギヤ比を乗じて駆動力を出力します。ドライバーは最適なタイミングでシフト操作ができ、アクセルを踏んだ時の高揚感をご体感いただけます。また、エンジンが搭載されているようなサウンドの演出にもこだわり、視覚的にもシフトアップ/ダウンが判断できるよう専用のシフトガイドメーターを採用することで、走行中のクルマの状態をドライバーへ伝えます。「インタラクティブマニュアルドライブ(Interactive Manual Drive)」機能は、クルマの状態をアクセル操作のレスポンスや、音、視覚から把握でき、より深くクルマとの対話を楽しみながら運転していただける機能です。

\*1: F SPORT に搭載



インタラクティブマニュアルドライブ(Interactive Manual Drive)イメージ

## < Lexus Driving Signature の深化 >

- ・新開発の大容量リチウムイオンバッテリーの採用や新型 eAxle の搭載に伴い、サスペンションの特性を見直すことで、車両運動性能と乗心地を向上させました。フロントサスペンションは、低周波側のアブソーバー減衰力を上げることでよりフラットな乗心地を追求。リヤサスペンションでは、ダンパーの可変幅を拡大し低周波と高周波のアブソーバー減衰力を最適化することで、優れた操縦安定性の確保と乗り心地の向上を図りました。ばね上の動きの緻密なコントロールなどを通じて、Lexus Driving Signature の深化に寄与しています。

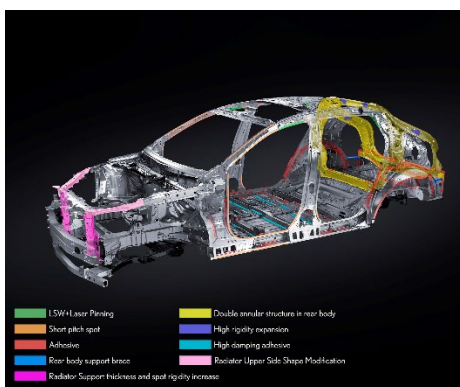


フロントサスペンション



リヤサスペンション

- ・LEXUS 他モデルで実践しているラジエータサポート廻りとリヤのボディ後端の剛性向上を今回の RZ にも織込みました。フロントのラジエータサポート廻りでは板厚、接合の強化を施し、リヤへはブレースを追加することで、局所的なねじり変形を抑え、ステアリング操作に対するすっきりとリニアな反応を実現し操舵応答性を向上させました。



ボディ構造

## < BEV ならではの高い静粛性を実現 >

- ・LEXUS BEV モデルならではの圧倒的な静粛性をさらに追求するため、後席下にリヤフロアサイレンサーを設定し、ノイズの侵入を抑制しました。また、ドアトリム、シートサイドガーニッシュ、バックドアトリムの防音材をより高性能化し、シートサイドガーニッシュの範囲を拡大。さらに防音性能を持つトノカバーの採用やバックドアトリムアッパー、デッキボックスに防音材を追加するなど徹底した取り組みによりロードノイズ、風切り音への対策を推進しました。振動対策においても、ボディフロアパネルに高減衰接着剤を採用し、不快な振動を抑えることで質感の高い乗り心地に貢献します。



静粛性 イメージ

## 運転する楽しさをもたらす F SPORT 独自のデザインの設定

より爽快で力強い走りやスポーティな世界観をお求めになるお客様のニーズにお応えすべく、新たに「RZ550e「F SPORT」」をラインアップしました。RZ550e「F SPORT」は、最大システム出力 300kW[407PS] を発生させ、足回りもアブソーバー減衰力、コイルスプリングのばね定数ともにスポーツ仕様にふさわしい専用チューニングとしました。さらに、LEXUS 初となる「インタラクティブマニュアルドライブ(Interactive Manual Drive)」を採用することで、よりクルマとの対話を深め操る楽しさを提供します。



### <空力性能に根差した F SPORT 独自のエクステリアデザイン>

エクステリアデザインは、機能に根差したアイテム（フロントロアバンパーモール、ブレーキダクト、リヤスポイラー、リヤバンパーロア、20 インチエアロホイール）の採用により、優れた空力性能・操縦安定性の実現に貢献します。20 インチエアロホイールは、骨格となるアルミホイールに空力デバイスとしてのエアロカバーを設定することで、軽量化と空力による電費性能向上を図っています。ボディカラーには、硬質なソリッドのライトグレーにハイライトでメタリックをほのかに感じさせる新色「ニュートリノグレー」を F SPORT に設定。ブラックの F SPORT 独自のアイテムとライトグレーとのハイコントラストで、駆け抜ける力強さ“タフ&スポーティ”を表現しました。BEV ならではの内なる力強さとスポーティな走りを予感させる、モノトーン全 5 色とバイトーン全 4 色を設定しました。



ボディカラー：ニュートリノグレー&ブラック（バイトーン）



フロントロアバンパーモール、  
ブレーキダクト



リヤスポイラー、リヤバンパーロア



20 インチエアロホイール



## ＜クリーンで開放的なインテリア空間を追求\*1＞

- ・前席上部から後部座席の乗員頭部まで設けた抜け感のある空間に寄与する調光機能付パノラマルーフの機能をさらに高め、快適な室内空間を実現しました。調光機能 ON 時にはパノラマルーフの鮮明度を向上させ、乗員に開放的な室内空間をもたらします。また調光機能 OFF 時には遮光性も向上させ、直射日光や紫外線が厳しい環境下での車室内の快適性をさらに高めました。加えて、電子インナーミラーへの映り込みを低減させたことにより、調光パノラマルーフと電子インナーミラーの同時装着が可能となりました。



調光パノラマルーフ

- ・ウルトラスエード®\*2 にレーザー加工によるグラフィックを施した、LEXUS 初となるドアトリム表皮を設定しました。約 30%の植物由来原料比を実現したウルトラスエード®\*2 にレーザー加工を施すことで、新たなラグジュアリーの表現に挑戦しました。シームレスでシンプル、先進的かつプレミアム感のある緻密なグラフィック表現により、お客様を非日常の体験へと誘います。



レーザーカットによるグラフィックを施したドアトリム表皮

- ・従来の陰影イルミネーションの華やかさに、光の模様が揺らぐような動きを追加した、LEXUS 初となるダイナミック陰影イルミネーション（マルチカラー）を設定しました。LEXUS のデザイン思想「Time in Design」に基づいた、時間の移り変わりを感じさせる徐々に変化する繊細な陰影柄が、お客様の気持ちに寄り添った心地よい時間を提供します。



ダイナミック陰影イルミネーション（マルチカラー）

\*1 version L、F SPORT に搭載

\*2 ウルトラスエードは東レ株式会社の商標です

## <走りを想起させる F SPORT 独自のインテリアデザイン>

- ・インテリアカラーに F SPORT 用に「ブラック×ダークグレー」を設定。BEV ならではの内なる力強さとスポーティな走りをイメージし、ブラックとダークグレーの色と素材にブルーステッチのアクセントを組み合わせました。オーナメントパネル「マイクロジオメトリックパターンフィルム」をはじめ、表皮一体発泡工法を用いたフロントシート、F SPORT ロゴ入りのフロントスカッフプレート、ステアリングホイールには F SPORT エンブレム、アルミペダル&フットレストの設定により、スポーティなドライビング体験を演出します。



インテリアカラー：ブラック×ダークグレー



マイクロジオメトリック  
パターンフィルム



フロントシート



アルミペダル&フットレスト

## <LEXUS 初のステアバイワイヤ用ステアリングホイールの設定>

- ・ステアバイワイヤシステム搭載モデルには、小舵角の操作を前提としたステアバイワイヤ用ステアリングホイールを採用しました。上下部分にリングのない形状は、ドライバーの視線を自然と前方に誘い、BEV の爽快な走りに集中できるコックピットを実現するとともに、足元スペースの確保による優れた乗降性にも貢献しています。



ステアバイワイヤ用ステアリングホイール